

# なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト

## ■プロジェクト推進体制

▶リーダー 清水副市長

政策調整部・市民部・産業観光部

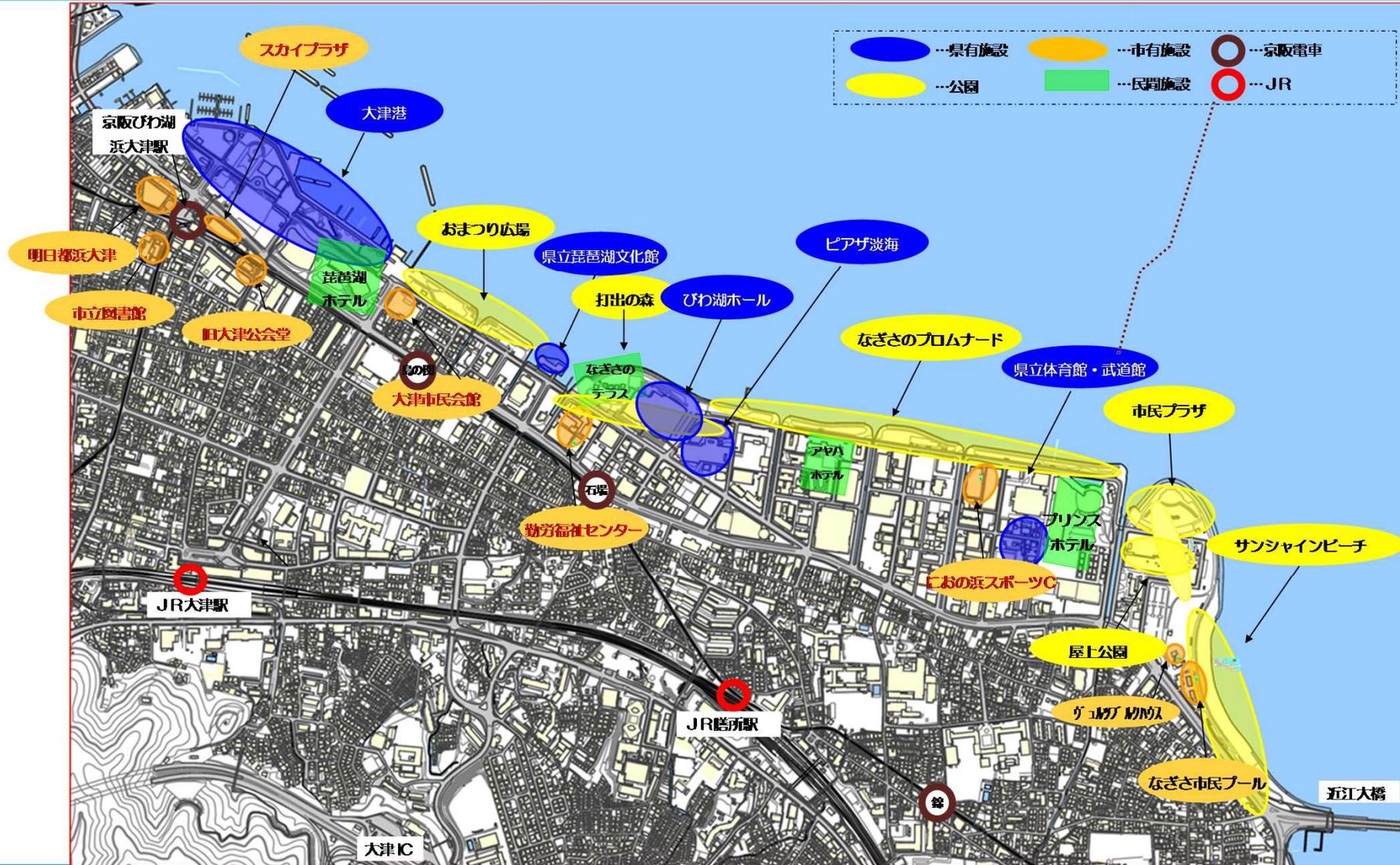
都市計画部・建設部・企業局

## ■プロジェクトの方向性

▶竣工から20年以上経過したなぎさ公園の魅力とにぎわいをさらに創出

▶人が訪れ、憩い、周遊できる仕掛けづくり

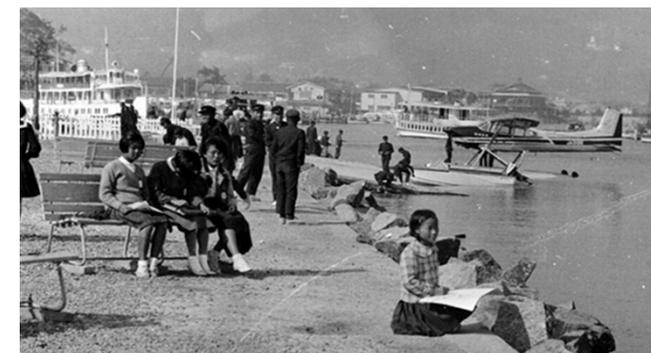
# なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト



# なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト

## ■水上飛行機の復活

- ▶ 国からの事業採択を受け、11月下旬に実証飛行を行う。
- ▶ 大津港沖からの離着水で、モニター客を乗せて次の行程でフライトを実施
  - ① 新空路便：関西国際空港 → 浜大津（約25分）
  - ② 遊覧飛行：大津・びわ湖、京都市上空
- ▶ 新常態に見合う「少人数」の移動手段・観光資源として活かせるよう、事業化に向けて効果を検証



# なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト

## ■琵琶湖疏水通船の航路延伸

- ▶ 京都の蹴上から三井寺前まで運行する疏水通船の航路を、大津港まで延伸する計画（予定）
- ▶ びわ湖観光の玄関口である大津港を発着拠点とし、観光客の認知度と周遊性の向上を図る。



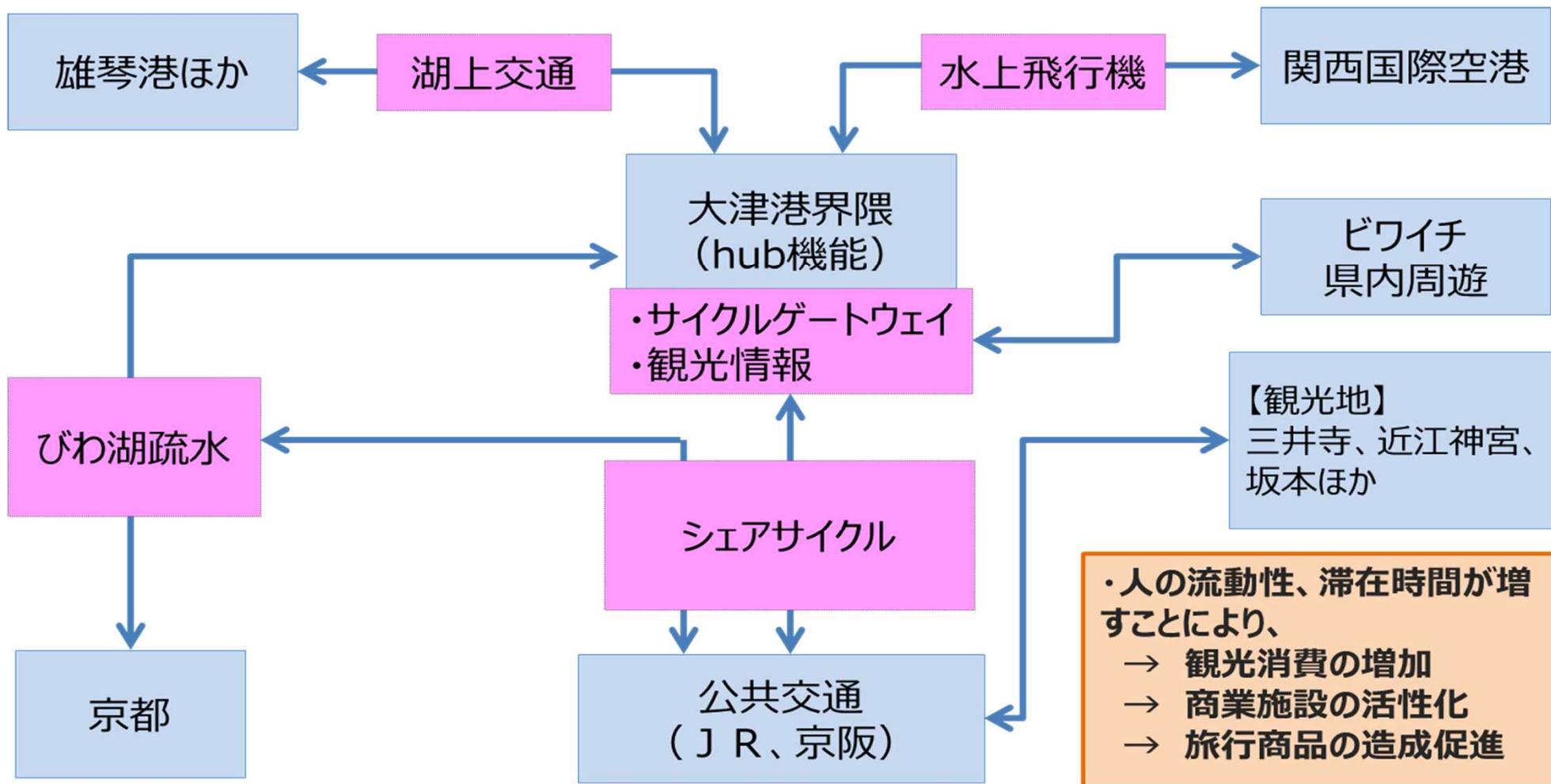
## ■ビワイチの拠点整備

- ▶ 大津港界隈にサイクルステーションを整備
- ▶ ナショナルサイクルルートに認定されたビワイチの新たな発着拠点とし、京阪神等からのサイクリストを呼び込む。



# なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト

## ■大津港をhub拠点とする観光の振興



# なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト

## ■ ポケモンマンホールの設置

- ▶ 株式会社ポケモンと自治体が協力して設置している世界に一つだけのオリジナルデザインのマンホール
- ▶ にぎわいの創出と普段あまり目立つことのないマンホールの下にある下水道への興味や理解を深めていただくことでSDGsに寄与する

【位置図】





# 新型コロナウイルス感染症対策 関連事業の実施状況

【資料2】



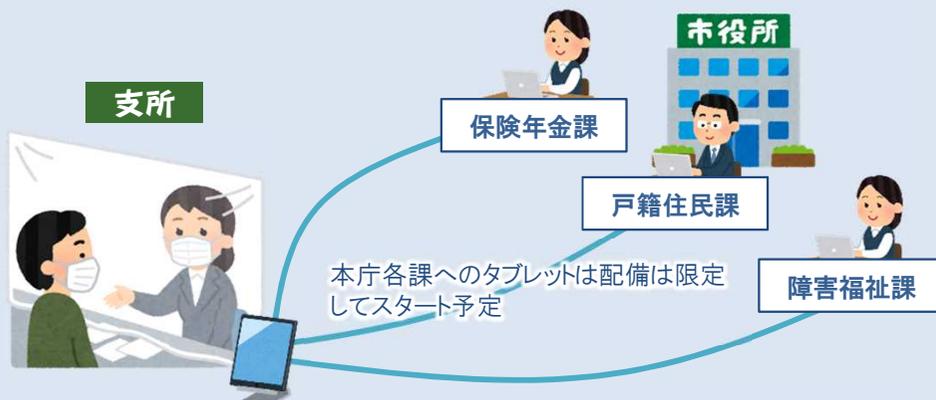
## 1 オンラインによる相談体制の運用

### (1) 支所におけるタブレット端末 テスト運用の開始について

～オンラインによる相談対応で感染拡大防止につなげる～

# タブレット端末活用方法

## 1 市民と本庁各課が支所窓口で直接 やりとりするためのツールとして活用



これまで、本庁各課とのやりとりを、電話子機を市民に渡して行っていたが、タブレットにすることで新型コロナウイルス感染症拡大防止につながる。

## 2 市民対応のなかでホームページの内容等を提示する際に活用



事務用端末からの印刷や、私用スマホを使って案内していたものを、タブレットで案内することで、事務の効率化につながる。

## 3 オンライン会議に参加するために活用



支所長会などの会議を、本庁に向くことなくタブレットを活用して、オンラインで実施することで、支所の負担軽減及び新型コロナ感染症拡大防止につながる。

## 4 支所窓口業務などの研修動画の視聴に活用



自席の事務用端末に限られず、タブレットで研修動画を視聴できることで、研修時間の確保及び新型コロナ感染症拡大防止につながる。

# 導入スケジュール

	配置支所	オンライン窓口対応課
①テスト運用 10月12日～	木戸、和邇、堅田、仰木の里、唐崎、滋賀、逢坂、平野、膳所、南郷、上田上、瀬田、瀬田北 計13支所	障害福祉課 自治協働課
②試行運用 11月1日～	真野北、坂本、下阪本、富士見、晴嵐、石山、田上、青山、瀬田南、瀬田東(10支所) 計23支所	戸籍住民課 保険年金課
③本格運用 12月1日～ (予定)	小松、小野、葛川、伊香立、真野、仰木、雄琴、日吉台、山中比叡平、藤尾、長等、中央、大石(13支所) 計36支所	

※③及びオンライン窓口対応課は、タブレット端末の準備や回線工事等のスケジュールにより、前後する可能性がある。

# 新型コロナウイルス感染症対策 関連事業の実施状況

【資料3】



## 1 オンラインによる相談体制の運用

### (2) 保健所におけるオンライン相談等

- ・ 子ども発達相談センターオンライン相談
- ・ オンライン版母子健康相談 ほか

発達障害及びその疑いのある子どもの相談を対象に、  
多職種によるオンライン相談を11月から本格実施します。

【利用アプリ】 個人情報を取り扱うため、セキュリティー性の高いWebex

【対象】 ○3歳6か月児健診後から中学卒業までの子どもの保護者  
○ビデオ通話が可能な通信環境にあり、Webexの利用と通信料が発生する可能性について了解をいただける方

【内容】 ○発達に関する相談  
○平日9時～17時の間で1回あたり50分

【周知方法】 ○ホームページに掲載  
○来所相談時に直接口頭にて案内

【その他利用】 ○保護者学習会での利用  
○関係機関との連携会議等

# オンライン版 母子健康相談



**未就園児の保護者を対象に、保健師・助産師・看護師による  
オンライン相談をスタートしています。(10月12日～)**

【利用アプリ】 個人情報を取り扱うため、セキュリティー性の高い Webex

【対象】 ○大津市在住の未就園児の保護者  
○ビデオ通話が可能な通信環境にあり、Webexの利用と通信料が発生する可能性について了解をいただける方

【内容】 ○子育てに関する相談  
○平日 9時30分～16時の間で1回あたり30分  
※同日でなければ、何度でも利用可能

○事前にネット予約システムで予約

【周知方法】 ○生後2週間の方に個別通知、  
新生児訪問でチラシ手渡し  
乳幼児健診会場や各すこやか相談所にチラシ設置

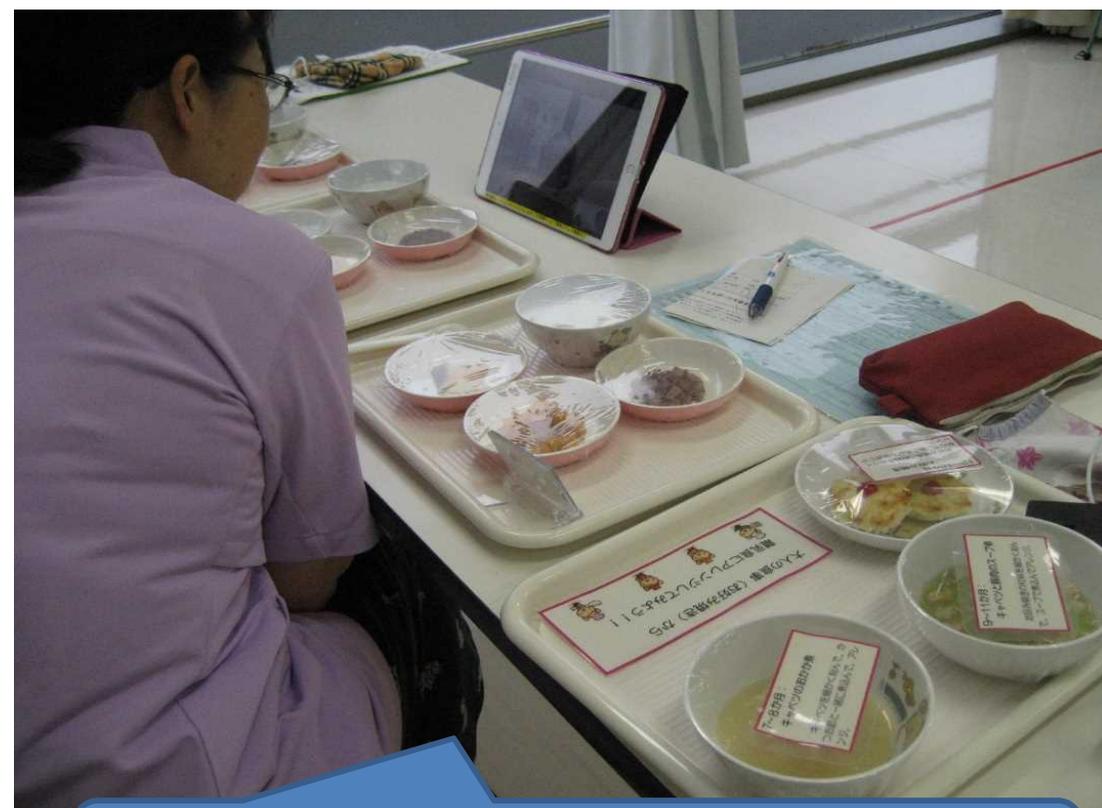
予約はこちらから



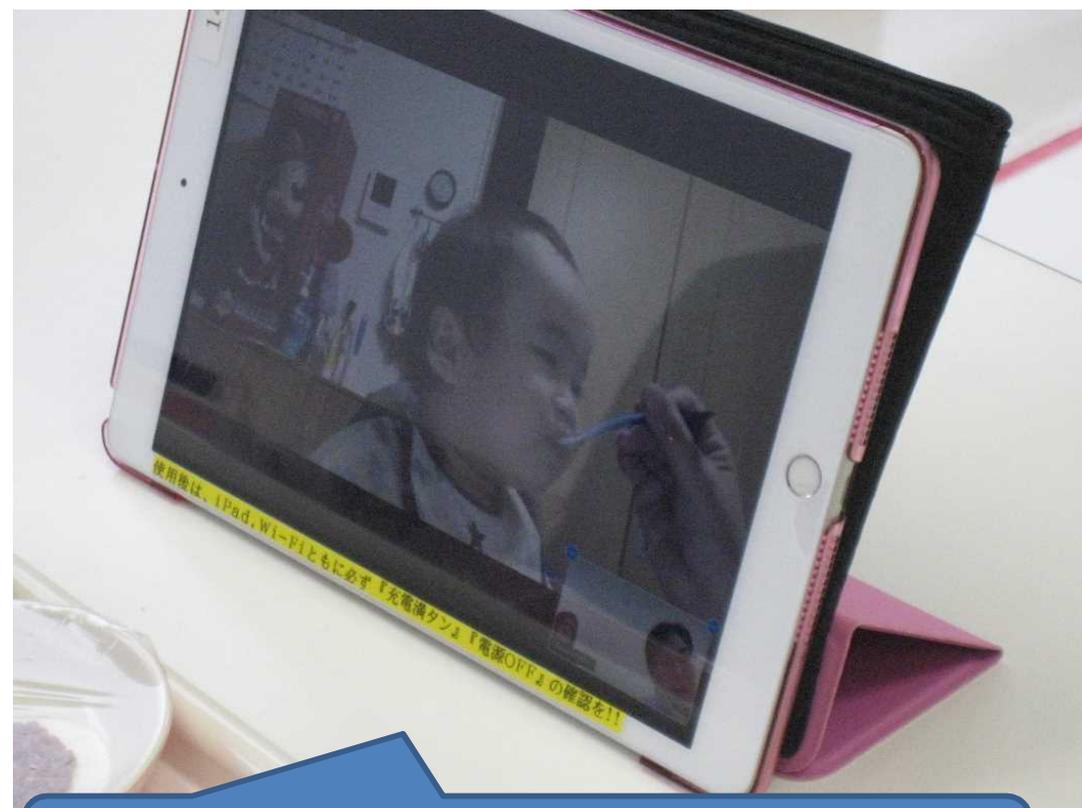
<https://yoyaku.karada.live/?login/otsu>

# オンライン版 母子健康相談

離乳食の相談をオンライン形式で実施しました(10月22日)



色々な時期の離乳食モデルを準備し、保健師が相談しました。



赤ちゃんが離乳食を食べている様子を確認しながら相談しました

## 「低出生体重児と親子のつどい」 オンライン＋集合形式 (10月30日(金)10:00～12:00)

【利用アプリ】 個人情報を取り扱うため、セキュリティー性の高い Webex

【対象】 ○1000グラム以下、または30週未満で出生した、  
0～1歳6ヶ月児とその保護者

○ビデオ通話が可能な通信環境にあり、Webexの利用と通信料が発生する可能性について了解をいただける方

【内容】 ○親子あそび      ○保護者の交流  
○小児科医師・栄養士・発達相談員・保健師・保育士より育児アドバイス

【周知方法】 ○対象者に個別案内

集合形式：新型コロナウイルス感染症予防対策に配慮し実施する。

当日、Webexの画面をプロジェクターで画面投影し、オンライン参加の方も一緒に参加しながらつどいを進めていく。

# オンラインマタニティサロン

マタニティサロンをオンライン形式で実施しました(7月30日)

今後の開催予定: 令和3年1月29日、2月16日、3月15日



赤ちゃん人形で抱っこや授乳の方法を見てもらいました。



妊娠中の胎児の大きさを人形で見てもらいました。

# 新型コロナウイルス感染症対策関連事業の実施状況

## 2 商工団体等提案事業補助金(事業提案)

事業名	提案団体	事業概要	実施状況
プレミアム付商品券発行事業	(一社)大津市商店街連盟 ほか	500円券13枚綴の商品券を5,000円で販売。 16商店街と平和堂18店で使用可能	11月より実施予定
ナカマチ商店街プレミアム商品券事業	ナカマチ商店街(長等・丸屋町・菱屋町の3商店街)	500円券13枚綴の商品券を5,000円で販売。 3商店街で使用可能	10月1日より販売・ 使用開始済
石山商店街レシートセール	石山商店街振興組合	3店舗以上の買物レシートの合計10,000円 以上で2,000円分の商品券進呈	12月より実施予定
テイクアウト・デリバリー紹介事業	石山商店街振興組合	テイクアウト・デリバリーを実施している店舗をチラシで紹介	10月下旬より配布 予定
お料理宅配便事業	大津商工会議所・大津北商工会 ・瀬田商工会	タクシー事業者の協力による料理の宅配事業	12月より実施予定
おおつ合同企業説明会WEB版	大津商工会議所	オンライン上での合同企業説明会(12月中旬より求職者エントリー開始予定)	1月下旬の実施予定
自社ホームページ作成支援事業	瀬田商工会	企業情報の発信と販路開拓を目的とした自社ホームページ作成支援	事業者募集中
新商品・サービス開発ストーリー事例集	大津北商工会	新商品等の開発等に関するセミナーを開催。 受講者に関する事例集を作成	11月上旬セミナー開催 その後事例集を作成

# 【参考】大津市新型コロナウイルス感染症対策 商工団体等提案事業補助金制度概要



Lake Biwa

目的

商工団体等が主体となって取組む市内事業者を対象とした経済対策や市民の生活支援につながる事業に対して財政的支援を行い、多様な経済対策を促進する。

対象

商工会・商工会議所・商店街連盟・商店街振興組合・観光協会・その他中小企業団体（法令に基づいて設立された特定の団体に限る）

補助  
メニュー

## (1)市内事業者支援事業(補助率:上限1/2)

★主として市内事業者への支援に寄与する取組

### ①販路開拓支援

例 ・販売サイト(HP)の作成 ・SNSによる商品情報発信  
・事業者の紹介(広告・メディア掲載) ・キャンペーン企画

### ②新しい生活様式に対応したビジネスの推進

例 ・専門家による指導・助言 ・対応事業者の紹介  
・事例集の作成 ・テイクアウト・デリバリーの紹介

### ③人材確保支援

例 ・Webによる就職面接会 ・専門人材とのマッチング

### ④実態調査

## (2)市民生活支援等事業(補助率:上限10/10)

★主として市民の生活支援に寄与する取組

例 ・プレミアム付商品券事業やクーポン券の配布  
・高齢者向け御用聞きサービス

★国・県制度活用を促進する取組

例 ・補助制度活用サポート ・支援制度登録サポート

補助  
金額

## 1団体1提案:上限150万円

・複数の団体が連携して1つの提案事業に取り組む場合、最大5団体分の申請が可能。  
(最大750万円)

提案  
事業

- ・プレミアム付き商品券発行
- ・わくわく大抽選会
- ・レシートセール
- ・テイクアウト・デリバリー紹介
- ・新商品・サービス開発ストーリー支援事例集
- ・自社ホームページ作成支援
- ・お料理タク配便事業
- ・合同企業説明会WEB版

# 新高機能消防指令システム

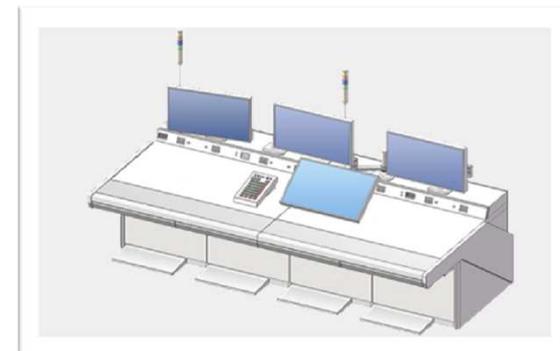
11月17日 運用開始!!



# 最先端の情報通信技術（ICT）を 駆使した最新鋭のシステム

## 指令台の特徴

- 主な操作を1つの画面に集約することで操作性を格段に向上させて、迅速・確実な操作を行うことができます。
- 4画面フルタッチパネルディスプレイの採用
- 電子ペンによる手書き機能
- 建物の出入口を表示させて玄関までの最短ルートを活用



情報ディスプレイ

- 補助情報を表示する画面



指令ディスプレイ

- 主に操作する画面

## 災害時コミュニケーションボード[46inタッチパネル]

- ・ 指令情報に基づく、出動場所の地図、周囲の消防水利・対象物情報等を表示させ、出動前の限られた短時間に、出動経路、交通制限情報、使用する水利予約等を各隊で意識合わせを行う。

## 指揮隊用タブレット

- ・ 出動前の意識合わせに加えて、さらに、災害点の詳細情報から現場活動の指揮を行ううえで活用する。

## 救急業務用タブレット

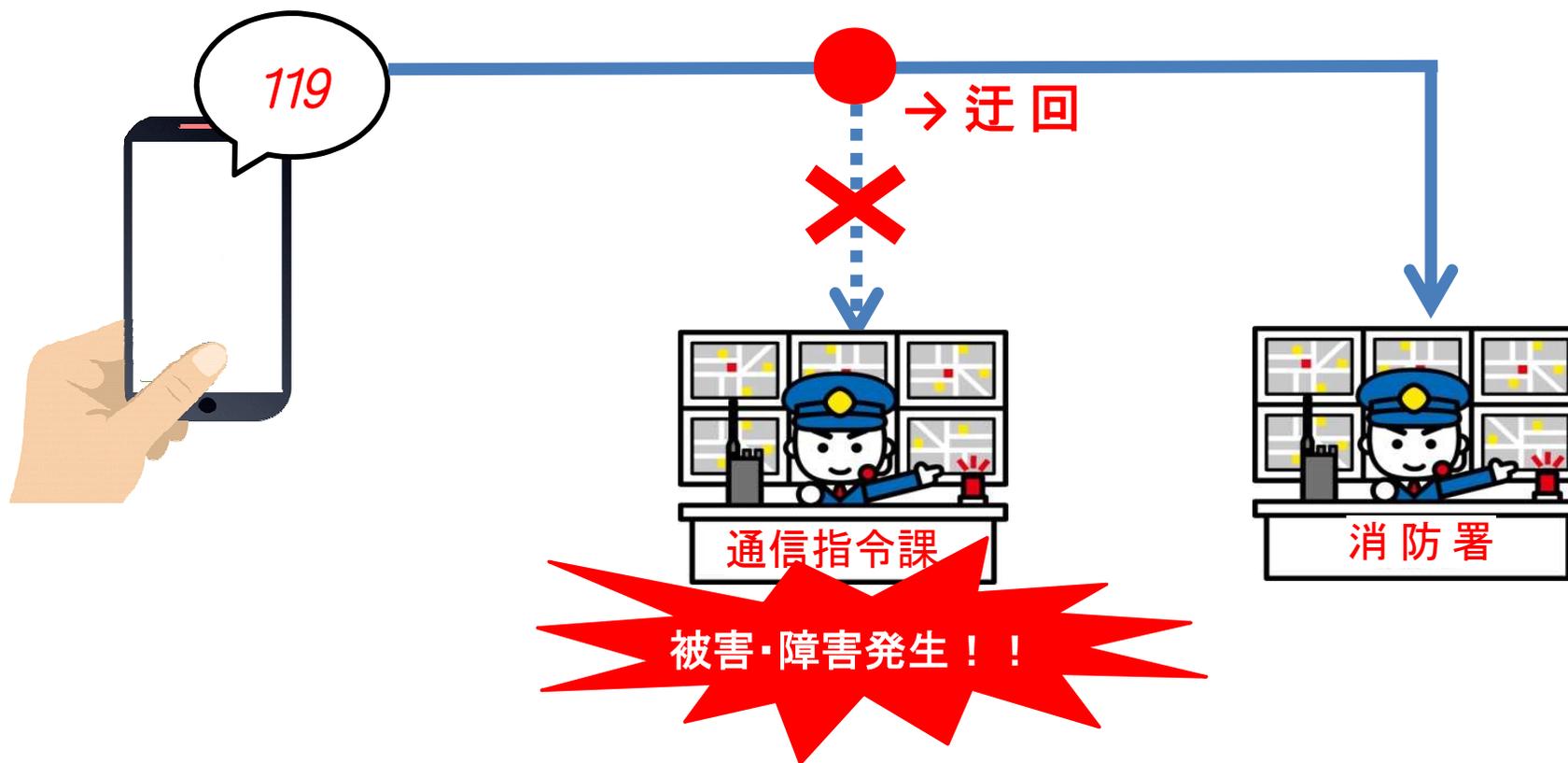
- ・ 傷病者情報を登録し、病院到着後に救急車に設置する車載プリンタから傷病者搬送証を印刷する。
- ・ 各種登録情報は消防支援情報システムに連携し、事務処理時間の短縮による労務管理を図る。

## 車載端末装置

- ・ 消防車・救急車等に設置し、災害地点までのナビゲーション機能を搭載し、最適なルート案内を行う。
- ・ 指令台でメモする情報を受信し、視覚的に情報を確認する。

# 緊急通報回線の迂回装置

- 大規模災害発生時に想定を超えた被害を受け、指令装置等に重大な障害が発生することが予想されることから、119番緊急通報受信機能を確保するための迂回装置



# Net119緊急通報システム

- 音声言語による119番緊急通報が困難な聴覚・言語障害者がスマートフォン等を用いて、円滑に119番緊急通報を行うことができるシステム

## 通報の流れ



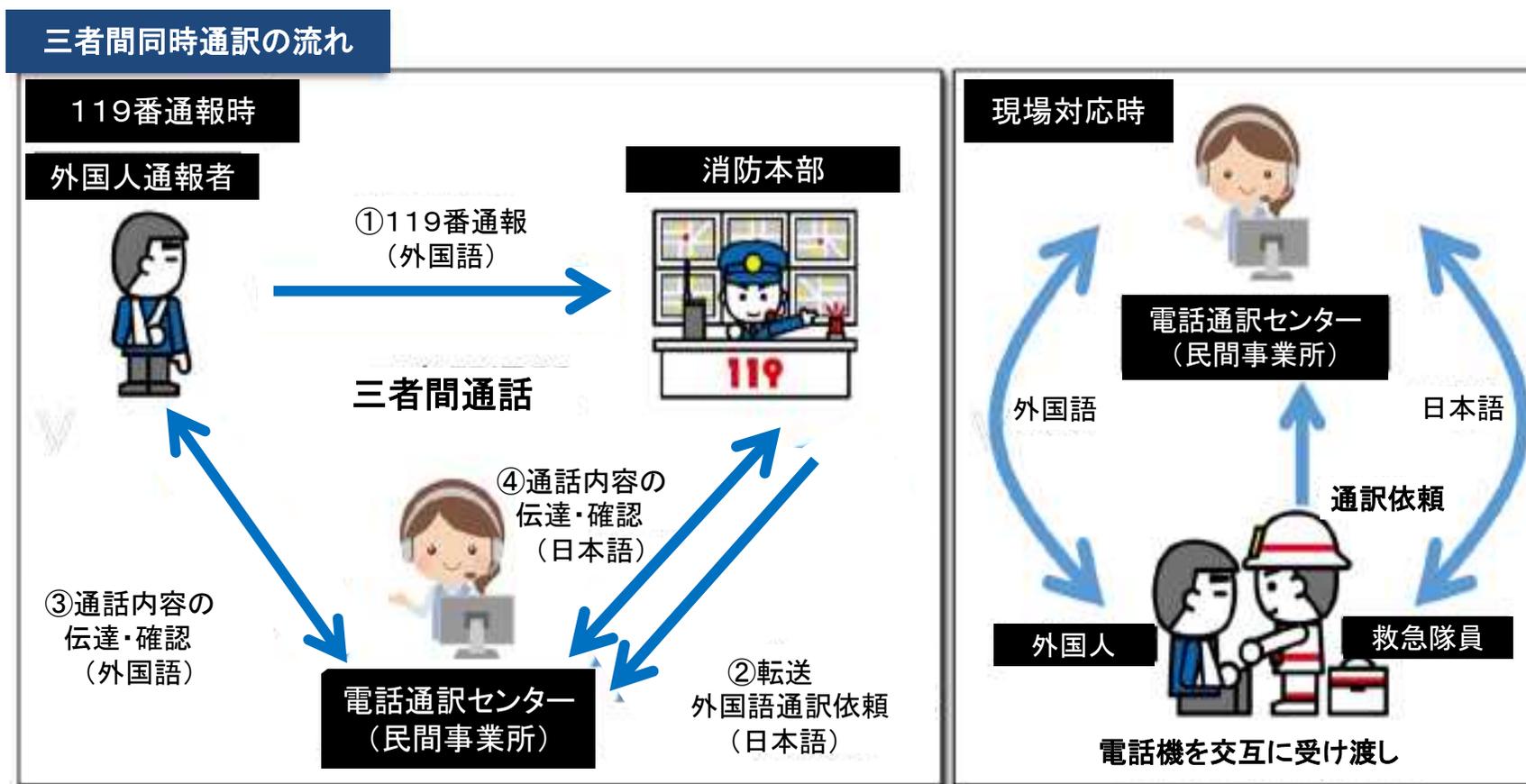
利用者は、GPSを搭載したスマートフォン等の所有者(GPSはON)とし、所在地を管轄する消防本部に事前登録する。

GPSの位置情報に基づき、通報内容を事前登録情報(住所・氏名など)とともに、通報者の現在位置を管轄する消防本部に転送する。

通報を受けて、消防隊・救急隊等を災害現場へ出動させる。

# 多言語サポートシステム

- 外国人からの119番緊急通報時や外国人のいる救急現場等での活動時において、電話通訳センターを介して三者間同時通訳で対応するシステム



# 「大津市くらしの手続きガイド」実証実験

## 実証実験実施の経緯と概要について

### スマート自治体滋賀モデル研究会 (令和元年度～)

【滋賀県、大津市、近江八幡市、草津市】

■行政サービスの改革による住民の利便性向上および自治体組織の働き方改革に資する行政事務の効率化を推進するため、ICTを活用した施策についての情報共有、意見交換、調査を実施。

### スマート自治体都道府県補完モデル 調査研究事業（令和2年度）

【滋賀県、県内14市町※、国、民間事業者】

■住民等がワンストップで手続きを完結できるデジタル環境の創出を目指して調査研究事業を実施。

■大津市、草津市、湖南市をモデル団体として選定し、**モデル事業**を実施。



## 「大津市くらしの手続きガイド」実証実験を実施

- 期間  
令和2年11月4日～令和3年3月31日
- 利用方法  
パソコン、スマートフォンなどを用いて専用サイトに接続してください。

### 入り口サイト (大津市ホームページ内)

- ▶「大津市くらしの手続きガイド」へのリンクを設置
- ▶利用者へのアンケートを設置



# 大津市くらしの手続きガイドについて

- 引っ越しに関する3つのライフイベント（転入、転居、転出）関連の手続きを案内する。
- 市民の皆様が簡単な質問に答えることで、一人ひとりの状況に応じた必要手続きを洗い出す。

## 1 ライフイベントを選択



転入 転居 転出

## 2 質問に回答

世帯の状況①に関連して、以下のうち該当するものすべてを選択し、「次へ」を押してください。

- 妊娠中の方がいる
- 養育中の子どもがいる
- 年金を受給している方がいる
- 障害者の方がいる

上記を選択して次へ

質問に答える  
(質問数：約10～30)

## 3 手続一覧表示

大津市役所 で行う手続き



持ち物リスト

本館1階戸籍住民課

▶ 転入届 (国外からの転入)  
最初にやりましょう

▶ マイナンバーカードの住所変更

▶ 印鑑登録

新館7階子ども家庭課

▶ 児童手当の受給申請  
書式あり

本館1階保険年金課

▶ 重度心身障害者の医療費助成の申請

### 【案内項目】

- ❑ 手続き場所
- ❑ 持ち物
- ❑ 電子申請サービスへのリンク 等

必要な手続きの一覧が表示される 2